

淀駅付近立体交差化事業

現在は、京阪本線淀駅付近の立体交差化事業を進めています。これは、京都市の都市計画事業として、京都競馬場の最寄り駅である淀駅を中心に京阪本線約1.5kmを高架化する事業で、平成25年度の完了を目指しています。

すでに上下線が高架線に切り替わりました。この高架化により3カ所の踏切道が廃止され、交通渋滞の緩和や運転保安度の向上が実現しました。



高架化された淀駅



整備前



整備後

平成25年度 安全重点施策の目標

踏切の安全性向上

踏切支障報知装置の新設、踏切道の構造改良、踏切自動遮断機の更新などを実施します。また、淀駅付近の立体交差化工事は今年度の事業完了に向け、工事を進めます。

火災・自然災害対策の推進（地震、風、雨など）

気象観測機器

当社では、各種気象観測機器として風速計16カ所、雨量計4カ所、河川監視カメラ3カ所、地震計8カ所を沿線に設置しています。



気象状況表示装置



温湿度計



雨量計



風向風速計

耐震補強

高架橋耐震補強

阪神淡路大震災以降、地震に対する安全度を向上させるため、耐震補強を進めています。

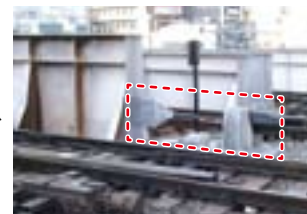


高架橋耐震補強



落橋対策

大規模地震時に橋桁が橋台から落下するのを防ぐため、阪神淡路大震災以降、落橋防止装置を設置しています。



落橋対策

早期地震警報システム

気象庁から配信される緊急地震速報を利用して、当社線沿線で震度4以上が予測される場合は、自動的に列車無線で全列車に対して通報することにより、大きな揺れが到達するまでに危険箇所を避けて緊急停止を行い被害の最小化を図ります。



早期地震警報システム